

【2014 裁判所職員 基礎能力試験より抜粋】

[裁判 数的処理] A～Cの3人が、2地点X、Yを結ぶ直線の道をそれぞれ一定の速度で通る。Aは、Xから出発してYへ向かって進み、Bは、Xより8km Y方向へ進んだ地点から出発してYへ向かって進む。Cは、Yから出発してXに向かって進む。A～Cの3人が同時に出発し、次のア～エのことが分かっているとき、Aの速度はいくらか。

- ア Aは30分後にBに追いつく。
- イ AとCは45分後に会う。
- ウ BとCは1時間後に会う。
- エ CがXに到着後の16分後に、BはYに到着する。

- 1 16km/時
- 2 18km/時
- 3 20km/時
- 4 22km/時
- 5 24km/時

[裁判 政治] 執政制度に関する次のA～Dの記述の正誤の組合せとして最も適当なものはどれか。

- A 大統領制と議院内閣制の相違点として、大統領が一般的に任期の途中で解任されないのに対し、議院内閣制における首相は議会の不信任決議によっていつでも解任されることが挙げられる。
- B アメリカの執政制度の特徴の一つは権力の分立にあり、大統領の権限と議会の権限は厳格に区分されている。そのため、大統領は立法過程において議会に法案を提出することのみ認められている。
- C イギリスでは、単独政権よりも連立政権が常態化しているため、首相は与党のリーダーとして政党間調整を行う強い権限を有している。こうした特徴を持つ仕組みをウェストミンスター型と呼ぶ。
- D わが国では、戦後、衆議院の多数派によって内閣を構成する議院内閣制を採用している。1990年代の選挙制度改革による小選挙区制の導入によって、政党執行部の力が弱められた結果、首相の権限が弱体化した。

	A	B	C	D
1	正	正	正	誤
2	正	誤	誤	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	誤	正	正
5	誤	正	誤	正

[裁判 経済] 社会保障制度改革推進法に基づき、社会保障制度改革国民会議が設置され、平成 24 年 11 月から平成 25 年 8 月にかけて議論が行われ、報告書が平成 25 年 8 月 6 日にとりまとめられた。この報告書に記されている医療・介護分野の改革内容に関する次のア～エの記述のうち、適当なもののみを全て挙げているものはどれか。

ア 国民健康保険の運営については、都道府県・市町村・被用者保険の関係者が協議する仕組みを構築すべきである。

イ 後期高齢者医療制度については、多くの批判を勘案して抜本的な見直しを図るべきである。

ウ 70～74 歳の医療費自己負担については、2 割負担となっている特例措置を改めるべきである。

エ 介護保険制度における介護サービスの利用については、一定以上の所得のある利用者の負担は引き上げるべきである。

- 1 ア, イ
- 2 ア, エ
- 3 ア, イ, ウ
- 4 イ, エ
- 5 ウ

[裁判 法律] 内閣の職務に関する記述として最も適当なものはどれか。

- 1 国政に関する調査を行い、これに関して証人の出頭及び証言や記録の提出を要求する。
- 2 最高裁判所の長たる裁判官を指名し、下級裁判所の裁判官を任命する。
- 3 内閣総理大臣及びその他の国務大臣が締結した条約を承認する。
- 4 罷免の訴追を受けた裁判官を裁判するために、弾劾裁判所を設置する。
- 5 新たに租税を課し、又は現行の租税を変更するために、政令を制定する。

[裁判 日本史] わが国の近現代の軍事，外交に関する次のA～Dの記述の正誤の組合せとして最も適当なものはどれか。

- A 幕末に締結した日米修好通商条約は，長く日本とアメリカの貿易関係において大きな役割を果たした。しかし，日中戦争が長期化し，日本とイギリス，アメリカの関係が悪化した1930年代末に廃棄された。
- B 主にヨーロッパが戦場となった第一次世界大戦には，日本は参戦しなかった。そのため日本の工業生産が発展し，ヨーロッパ向けの輸出が大幅に増えて「成金」と言われる人々が生まれた。
- C ソビエト連邦（ソ連）と日本の国交は，1930年代までには樹立されていなかった。しかしナチス・ドイツが1939年にソ連と不可侵条約を結んだため，後に日本もソ連と中立条約を締結し国交を樹立した。
- D 朝鮮戦争では，日本に置かれた米軍が動員された。また日本国内では米軍が必要とする物資・サービスに対する「特需」が生まれ好景気となった。これも作用して鉱工業生産は，1950年代の初めに戦前の水準に戻った。

	A	B	C	D
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	誤	誤
4	誤	誤	正	正
5	誤	誤	誤	正

[裁判 世界史] 世界各地における戦争に関する記述として最も適当なものはどれか。

- 1 古代ローマとカルタゴとの間で3回にわたってポエニ戦争が行なわれた。ローマは，第1回の戦いに勝利してシチリア島を獲得したが，第2回のザマの戦いにおいてはカルタゴのハンニバルの活躍で劣勢となった。最終的に，第3回のカンネーの戦いで，ローマ軍の大スキピオがカルタゴを滅亡させた。
- 2 18世紀半ば，クライブの指揮するイギリス東インド会社軍は，ムガル帝国のベンガル太守とフランスの連合軍をマイソール戦争で破り，インドにおけるイギリスの優勢を確立した。これに敗れたフランスは，インドから撤退し，ムガル帝国は，その勢力を衰退させ，イギリスの支配に屈するようになった。
- 3 アヘン戦争は，イギリスによるアヘン密貿易に対して，清がその取締りを強行したこ

とを直接の原因として始まった。イギリスの勝利に終わったこの戦争は、その後の中国の半植民地化への起点となったが、その一方で、この戦争中に広州三元里の村民が組織した平英団によるイギリスへの反抗は、その後に展開された中国における民族運動に大きな影響を与えた。

- 4 19世紀後半、ロシアがオスマン帝国領内に住むギリシア正教徒の保護を名目に出兵すると、ロシアの南下政策を警戒するイギリス・フランスなどが、オスマン帝国側に立って参戦したことで露土戦争が始まった。この戦争は、オスマン帝国の優位で終わり、サン＝ステファノ条約が締結され、ロシアの南下政策は頓挫した。
- 5 19世紀後半、黒人奴隷制度と綿花生産に立脚した南部と、産業資本が芽生えていた北部との間で勃発した南北戦争は、アメリカ史上最大の戦争となった。リー將軍率いる北軍がリッチモンドでの戦いに勝利し、南北戦争における北軍の勝利を決定させた。リッチモンドは、リンカンによる有名な演説の地として知られる。

[裁判 地理] 東南アジアに関する記述として最も適当なものはどれか。

- 1 インドネシア・シンガポール・タイ・マレーシア・ミャンマーの5か国は、インドシナ半島の社会主義勢力に対抗するために、1967年にA S E A N(東南アジア諸国連合)を結成した。A S E A N諸国では一様に工業化政策が採用されたが、いち早く工業化に成功したのはシンガポールであった。シンガポールは輸入代替型の工業化政策により、アジアN I E sの一員にまで成長した。
- 2 19世紀以降、欧米諸国による植民地支配の下で、商品作物を大量に生産するプランテーションが開発された。フィリピンではアメリカ合衆国の資本によって、広大なバナナ園が開かれた。マレーシアやインドネシアのスマトラ島やカリマンタン島では、アブラヤシの生産が拡大している。プランテーションで生産された一次産品の多くは、国営企業を通じて輸出されている。
- 3 東南アジアは、インド洋と南シナ海とをつなぐ交通の要所にあるため、民族や文化が複雑に融合している。マレーシアは、多数を占めるマレー系住民のほか、中国系、タミル系、山岳部の少数民族から構成されている。半島のミャンマーではインドから伝来した仏教を信仰する人の割合が最も高いのに対して、オランダの植民地支配を受けたインドネシアではキリスト教を信仰する人の割合が最も高い。
- 4 タイでは伝統的に、雨季が近づくと水牛を使って田を起こし、直播きによる稲作が行われてきた。1960年代半ばから緑の革命と呼ばれる農業改革が始まり、収量を増やす取り組みが拡大した。新しい品種の開発や化学肥料の投入、農業機械の普及などにより、米の収量は飛躍的に増加し、タイの中央を流れるチャオプラヤ川周辺の低地は、アジアで

も有数の穀倉地帯となった。

- 5 インドシナ半島では、第二次世界大戦以降も各地で紛争が続いたこともあり、工業化が遅れた国が多い。ベトナムでは、ベトナム戦争終結時からドイ・モイと呼ばれる閉鎖的な統制経済が続けられていた。1980年代にアメリカ合衆国がベトナムへの経済制裁を解除し、ベトナムのASEANへの加盟が実現すると、日本・韓国・シンガポールなどの東アジア諸国からの投資が増加した。

[裁判 思想] 功利主義に関する次のA～Dの記述の正誤の組合せとして最も適当なものはどれか。

- A 功利主義においては、道徳だけでなく立法や行政も最大多数の最大幸福という原則に基づかなければならない。
- B ベンサムによれば、最大多数の最大幸福の実現のために制裁を科すことは、個人の快樂を妨げるため、禁止される。
- C ベンサムは、快樂の大きさをいくつかの基準によって数量的に計算し、その結果を立法や行政に役立てようとした。
- D J.S.ミルによれば、人間の快樂には質的な差異があり、人間は低級な快樂のみならず高級な快樂も追い求める存在である。

	A	B	C	D
1	正	正	正	誤
2	正	誤	正	正
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	誤

[裁判 政治] 政党に関する次のA～Dの記述の正誤の組合せとして最も適当なものはどれか。

- A 政党システムの類型化を試みたG.サルトーリは、3～5党くらいの主要政党で構成される穏健な多党制について、政党間の政策的・イデオロギー的距離が小さいがゆえに対立が深刻化し、連立政権が組みにくく不安定であると主張した。
- B 政党システムを決める要因として選挙制度の重要性が考えられるが、なかでも、M.デュヴェルジェは、小選挙区制の場合は二大政党制になり、比例代表制の場合は多党制になるという仮説を立てた。
- C 現代の民主政治における政策形成の機能に関して、政党は、国民の利益や意見を政

治過程に反映させる利益表出機能のみを担い、その利益を調整したり集約したりする利益集約機能は政党以外が担っている。

D わが国のいわゆる 55 年体制下における自由民主党は、インフォーマルな組織である派閥が役職の配分や政治資金の調達と配分において重要な役割を持つとともに、総裁の選出や政策形成の局面でも広く影響力を発揮してきた。

	A	B	C	D
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	誤	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	誤	正	正
5	誤	正	誤	正

[裁判 経済] わが国の平成 25 年度一般会計当初予算に関する記述として最も適当なものはどれか。

- 1 大規模な経済対策に伴って予算規模は拡大し、総額は当初予算として初めて 100 兆円を超えた。
- 2 社会保障関係費は 40 兆円を超え、これは一般会計歳出全体の 4 割以上を占めている。
- 3 公共事業関係費は震災復興の加速などもあって前年度当初予算比 15% 以上の増加となり、5 兆円を超えた。
- 4 税収で最も大きな比率を占めるのは 14 兆円を超える消費税であり、次いで所得税、法人税の順になっている。
- 5 公債金収入は景気の回復に伴って 30 兆円台にまで縮小し、公債依存度も 30% 台に下がった。

[裁判 物理] 力の性質に関する次の A ~ C の記述の正誤の組合せとして最も適当なものはどれか。

A ある物体を月面上でばねばかりにつるすと 0.1 N ^{ニュートン} を示した。月面上での重力の大きさを地球上の $\frac{1}{6}$ とすると、この物体を地球上でばねばかりにつるすと 0.6 N ^{ニュートン} を示す。

B ある物体を月面上で上皿天秤に載せると 30 g ^{グラム} の分銅と釣り合った。月面上での重力の大きさを地球上の $\frac{1}{6}$ とすると、この物体を地球上で上皿天秤に載せると 5 g ^{グラム} の分銅と釣り合う。

C 直方体の物体を水中に沈めたとき、この直方体の各面に垂直に水圧が働く。このとき、直方体の上面に働く水圧は底面に働く水圧よりも大きい。

	A	B	C
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

[裁判 化学] 酸と塩基に関する次の A ~ D の記述の正誤の組合せとして最も適当なものはどれか。

- A 酢酸や硫酸などの水溶液中で電離して水素イオンを生じる物質を酸といい、酸は青色リトマス紙を赤くする。
- B 水酸化ナトリウムや水酸化カルシウムなどの水溶液中で電離して水酸化物イオンを生じる物質を塩基という。塩基は、赤色のリトマス紙を青くし、また、酸の水溶液の酸性を打ち消して塩を生成する。
- C 水溶液の酸性の強さや塩基性の強さを表すには pH という数値が使われる。 pH が 7 より大きな場合を酸性、7 より小さな場合を塩基性という。
- D 酸が塩基に与えることのできる水素イオンの物質量と、塩基に含まれる水酸化物イオンの物質量とが等しいとき、酸と塩基は過不足なく反応する。これを中和反応という。

	A	B	C	D
1	誤	正	正	正
2	正	誤	正	正
3	正	正	誤	正
4	正	正	正	誤
5	誤	誤	正	正

[裁判 生物] 光合成に関する次の記述中の A ~ E の空欄に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。

高等植物は、葉面に分布する気孔を通して、大気中から (A) を葉内に吸収し、光エネルギーを利用して光合成を行い、炭水化物を合成している。炭水化物の合成は、葉の細胞小器官の 1 つである (B) で行われている。(B) は二重の膜で包まれており膜構造が多数見られる。(B) 内の二重の膜で包まれた (C) には、クロロフィルやカロテノイドなどの光合成色素が含まれ、光エネルギーが吸収されて化学エネルギーに変換され、炭水化物の合成に使用される。合成された炭水化物は、細胞小器官の 1 つである (D) で分解を受け、その結果、(E) が放出され、エネルギーが取り出される。

	A	B	C	D	E
1	酸素	ミトコンドリア	ストロマ	ミトコンドリア	酸素
2	二酸化炭素	葉緑体	チラコイド	ミトコンドリア	二酸化炭素
3	二酸化炭素	葉緑体	ストロマ	葉緑体	二酸化炭素
4	二酸化炭素	ミトコンドリア	ストロマ	葉緑体	二酸化炭素
5	酸素	葉緑体	チラコイド	ミトコンドリア	酸素

[裁判 地学] わが国の地質に関する次の A ~ E の記述の正誤の組合せとして最も適当なものはどれか。

- A 地質学的観点からみたとき、東北日本と西南日本の境界は中央構造線である。
- B 日本海は新第三紀になって開き、このとき、東北日本は反時計回りに、西南日本は時計回りに回転した。
- C 四万十帯は典型的な付加体であり、その形成年代は白亜紀～新第三紀である。
- D 中央日本では西南日本から続いた地質の帯状構造が屈曲している。これは、伊豆火山弧が北方に衝突しているためである。
- E 秋吉台でみられる石灰岩にはフズリナ類の化石が含まれており、中生代に海山で形成されたものと考えられている。

	A	B	C	D	E
1	誤	正	誤	正	正
2	誤	正	正	正	誤
3	正	誤	誤	正	正
4	正	誤	正	誤	正
5	正	正	誤	正	誤